

南富良野高×鳥羽農園×町 返礼品開発

トマトジャムなど4種試食会

【南富良野】町は、ふるさと納税の新たな返礼品開発を目指し、南富良野高、町内でミニトマトを栽培する鳥羽農園と産官学連携プロジェクトを進めている。トマトを使った加工品を作る計画で、今秋のお披露目を目指す。

6月27日には同校で高橋秀樹町長や鈴木誠教育長らが参加し、試食会を開催。トマトを主体にしたジャムやソース計4種類を用意した。2年生11人が、町内のかなやま湖ログホテルラーチのシェフや同校の教諭からアド

バイスを受けながら改良を重ねてきた。

試食会ではジャムなどをパンに付けて味わった。高橋町長は「どれもおいしく、完成度が高かった」と講評。シーベリィを加えたトマトジャムを作った佐々木愛唯さん(17)は「砂糖を入れすぎなかったことで、トマトとシーベリィの味が引き立った」と手応えを語った。

今後、商品化する加工品を決めた上で、鳥羽農園を中心にパッケージなども検討する。返礼品と

試食会に向けて調理する南富良野高の生徒ら



園を中心にパッケージなども検討する。返礼品と

するだけでなく、イベントや道の駅「南ふらの」敷地内の物産センターでの販売も予定している。
(千葉佳奈)